

あとがき

本報告書は、水中・浮体橋梁研究部会として設置された中で、浮体橋梁に引き続き審議した水中橋梁について研究活動を進めたもので、鋼橋技術研究会の技術委員会で許可をうけての活動である。

当初予定より、時間が掛かってしまったが、Strait Crossings のシンポジウムの文献を利用しての勉強会等、部会員が新しいものを学ぶチャンスには恵まれたと思っている。とはいえ、日頃の業務内容とは異なる部分での資料整理、問題点の検討、試設計と精力的に協力して下さった部会員の方々に感謝申し上げる次第である。

また、当研究部会には、国土交通省、建設業、設計コンサルタント業等のメンバーも含まれており、部会活動を通じて鋼橋の技術者達が広く交流を持てたことも成果のひとつと考えている。

この報告書は新しい部門の研究成果である。今後、多くの助言、指導を戴きたく考えている。

最後に本研究部会長である若下藤紀氏が 2002 年 11 月 8 日に急逝され、報告書の刊行が遅れたことを心よりお詫び申し上げますと共に、当研究部会にご尽力を戴きました故若下氏のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

平成 16 年 10 月

水中・浮体橋梁研究部会

部会長代筆 部会員 緒方正剛